

情報処理演習 II

更新日：2024/04/08 09:08:41

開講年度	2023	学期	後期	科目コード	A01690	授業コード	
担当教員	金子壽一						
備考	選択必修（データサイエンス）、基礎教育科目、演習、ナンバリング：Bi12132y、Cj12207y 教職免許必修 実務経験のある教員が担当						
配当	学部/学科	大学 至誠館大学 現代社会学部 現代社会学科					
	配当時期	1年次	曜日/時限	火曜日/3・木曜日/3		単位	1
	備考	第1実習室					

授業種類

授業担当教員

- 実務経験のある教員が担当している

科目に関連した実務内容

SEとして情報システムを開発してきた実務経験を基に、情報処理の基本的な方法を指導します。

授業の言語調査

- 日本語以外の言語を使用する

アクティブラーニング要素

- 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
- ディスカッション・ディベート
- グループワーク
- プレゼンテーション
- 実習、フィールドワーク

授業概要・目的

表計算ソフト（EXCEL）の基本操作やデータ処理技術の基本を身につけ、集計処理、基本的な関数、グラフ作成、データベース機能等が利用できるようになることを目的とする。

DPとの関連

1) 知識・技能

- (1) 社会学・社会福祉学・経営学等現代社会を理解するために必要な知識と教養を身につけている。
- (2) 「子ども生活学」「スポーツ健康福祉」および「ビジネス文化」の3つの専攻のいずれかに関する専門知識と技術を習得している。

2) 思考力・判断力・表現力

- (1) 現代社会の課題を科学的にとらえ、論理的な思考や判断ができる。
- (2) 現代社会に起こっている様々な事象をエビデンスに基づき分析し、科学的な考察のもと、自らの意見を的確に表現、伝達する能力を身につけている。

3) 主体性・多様性・協働性

- (1) 「至誠」のこころを持ち、現代社会の課題に対して真摯に主体的に行動できる。
- (2) 多様な社会や文化を理解し、自分と他者とが相互に理解し向上できる豊かなコミュニケーション能力を持つ。
- (3) 他者を尊重し、異なった文化や背景のある人々と協働して社会や地域に貢献できる能力を持つ。

授業計画

1	ガイダンス 資料配布、保存用フォルダ作成、データ準備
2	WINDOWS、EXCELの基本操作 ファイル操作、ページ設定、データ入力
3	セルの編集 セルの書式設定、表示形式、配置、複写、移動
4	ワークシートの編集 行挿入、行削除、列挿入、列削除、列幅・行高変更、複写、移動
5	計算式 計算式の設定、オートフィル機能、相対参照、絶対参照
6	関数 SUM、AVERAGE、COUNTA、COUNT、MAX、MIN
7	関数 NOW、TODAY、ROUND、RANK、IF
8	表の作成 罫線の設定、編集、関数、計算式
9	表の作成 売上表、成績表
10	並べ替え
11	グラフの作成 棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ、積み上げグラフ
12	グラフの編集、印刷設定 タイトル、凡例、ラベル、ヘッダー、フッター

13	コンピュータサービス技能評価試験ワープロ部門3級の模擬試験 実習
14	コンピュータサービス技能評価試験ワープロ部門3級の模擬試験 実習
15	コンピュータサービス技能評価試験ワープロ部門3級の模擬試験 実習

到達度評価の評価項目

1	1. データや計算式、関数を入力し、装飾を施した表の作成ができる。	nd
2	2. 表の装飾・編集ができる。	nd
3	3. データをもとにグラフの作成・編集ができる。	nd
4	4. コンピュータサービス技能評価試験表計算部門3級に合格できる。	nd

教科書・参考書等

コンピュータサービス技能評価試験表計算部門3級テキスト&問題集（中央職業能力開発協会）

授業で使用する機器等

パソコン

予習・復習へのアドバイス

教科書で講義前に演習内容を確認すること（15分程度）。
毎回課題を完成させること（30分程度）。

履修上の注意・受講条件等

受講希望者が多い場合は抽選になるので、ガイダンス（第1回目）に出席しないと履修できない。
教科書を必ず購入すること。

成績評価の基準等

以下の観点から評価する
1) 授業に取り組む姿勢 (30/100)
2) 課題 (70/100)

フィードバックの方法

課題をチェックし、授業中に解説する。

メッセージ

欠席しないこと。

オフィスアワー

水曜3時限

前年度の授業評価アンケート結果からの改善点

課題を必ず完成させる。

情報処理演習Ⅱ【東京】

更新日：2023/01/30 23:30:48

開講年度	2023	学期	後期	科目コード	A01690	授業コード	
担当教員	薬師寺徹						
備考	選択必修（データサイエンス）、基礎教育科目、演習、ナンバリング：Bi12132y、Cj12207y						
配当	学部/学科	大学 至誠館大学 現代社会学部 現代社会学科					
	配当時期	1年次	曜日/時限	木曜日/2	単位	1	
	備考	402教室					

授業種類

授業担当教員

 実務経験のある教員が担当している

科目に関連した実務内容

授業の言語調査

 日本語以外の言語を使用する

アクティブラーニング要素

- 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
- ディスカッション・ディベート
- グループワーク
- プレゼンテーション
- 実習、フィールドワーク

授業概要・目的

十分なスピードでキーボードのタッチタイピングが行えるようになる

DPとの関連

1) 知識・技能

- (1) 社会学・社会福祉学・経営学等現代社会を理解するために必要な知識と教養を身につけている。
- (2) 「子ども生活学」「スポーツ健康福祉」および「ビジネス文化」の3つの専攻のいずれかに関する専門知識と技術を習得している。

2) 思考力・判断力・表現力

- (1) 現代社会の課題を科学的にとらえ、論理的な思考や判断ができる。
- (2) 現代社会に起こっている様々な事象をエビデンスに基づき分析し、科学的な考察のもと、自らの意見を的確に表現、伝達する能力を身につけている。
- 3) 主体性・多様性・協働性
 - (1) 「至誠」のこころを持ち、現代社会の課題に対して真摯に主体的に行動できる。
 - (2) 多様な社会や文化を理解し、自分と他者とが相互に理解し向上できる豊かなコミュニケーション能力を持つ。
 - (3) 他者を尊重し、異なった文化や背景のある人々と協働して社会や地域に貢献できる能力を持つ。

授業計画

1	ガイダンス
2	キー 中段 キーボード中段を30秒間で30文字以上キーを見ずにタイプできるようになる
3	キー中段 上段 キーボードの中段並びに上段をキーを見ずに30文字以上タイプできるようになる
4	キー 中段 上段 下段 キーボードの上段、中段、下段をキーを見ずに30文字以上タイプできるようになる
5	ローマ字入力 ローマ字入力ができるようになる
6	記号・数字入力 記号・数字を入力できるようになる
7	タッチタイピング 指定の計測ツールを使って、正しい入力方法でタッチタイピングができるようになる
8	タッチタイピング 指定の計測ツールを使って、正しい入力方法でタッチタイピングができるようになる
9	タッチタイピング 指定の計測ツールを使って、正しい入力方法でタッチタイピングができるようになる
10	タッチタイピング 指定の計測ツールを使って、正しい入力方法でタッチタイピングができるようになる
11	タイピング練習 指定の計測ツールを使って、素早くタッチタイピングができるようになる。
12	タイピング練習 指定の計測ツールを使って、素早くタッチタイピングができるようになる。
13	タイピング練習 指定の計測ツールを使って、素早くタッチタイピングができるようになる。
14	タイピング練習 指定の計測ツールを使って、素早くタッチタイピングができるようになる。

15	最終測定
----	------

到達度評価の評価項目

1	1分あたり入力数を指定の確認ツールを使って評価する	nd
2	毎回の実績を記録する	nd

教科書・参考書等

nd

授業で使用する機器等

インターネットに接続できる[qwerty]配列の物理キーボードが接続された機器

予習・復習へのアドバイス

可能な限り、「qwerty」配列の物理キーボードが接続された機器を購入して自宅で練習してください
必要な機器については授業内で案内します

履修上の注意・受講条件等

nd

成績評価の基準等

1分あたり入力数を指定の確認ツールを使って評価する
また、初めの計測から最後の計測からどの位の成果が上がったかも加味する

フィードバックの方法

nd

メッセージ

nd

オフィスアワー

水,木,金曜日12:00~12:45, 水,金曜日14:25~15:55
上記以外でも、Mellyでの予約があれば、必要に応じて質問を受け付ける時間を設けます。

前年度の授業評価アンケート結果からの改善点

nd